

新シリーズ
脳卒中医療連携

第1回

脳卒中ってなに？

(脳卒中の症状と診断)



前橋赤十字病院

脳神経外科部長 朝倉 健

こんにちは、前橋赤十字病院脳神経外科の朝倉です。脳卒中は片麻痺などの後遺症を残し、介護が必要となる病気です。皆さんの身近な方にも脳卒中を患ったり、脳卒中でなくなった方がいらつ

脳卒中ってなに？

脳卒中は大きく分けると脳の出血と脳血管が詰まる脳梗塞に分けられ

ます(図1)。脳出血は脳そのものの中に出血する脳出血と、脳動脈瘤が破裂して生じるくも膜下出血からなります。日本では以前、脳出血の方が脳梗塞よりも多かったのですが、今では欧米のように脳梗塞が7割以上と圧倒的に多いです。

側の手足の動きが悪いというのはアテローム血栓性脳梗塞のことが多いです。

①手足の動きが悪い、②顔がゆがむ、③呂律が回らない、この三つの症状のうち一つでも当てはまれば脳梗塞の可能性が非常に高いので、すぐに医療機関を受診してください。麻痺で歩けなければ遠慮なく救急車を呼んでください。次回に詳しく述べますが、tPA(テ

脳梗塞は心筋梗塞のように高血圧、高脂血症、糖尿病などが根底にあつて徐々に脳血管が細くなって詰まっていくアテローム血栓性脳梗塞と、細かい動脈が詰まって比較的小さな病巣を生じるラクナ梗塞と、心臓に不整脈があり、そこでできた血液の塊(血栓)が脳血管に流れてきて詰まる心原性脳塞栓症があります。

手足の麻痺が一時的に生じてまもなく(普通は1時間以内)戻るものがあります。これは一過性脳虚血発作(TIA: ティーアイイー)といつて脳梗塞の前触れです。脳血管は血栓によって一時的に詰まって症状を出し、血栓が溶けて血流が再開して症状が消失する現象です。元に戻ったからといって安心はできません。TIAを繰り返すと本当に脳梗塞になり、手足の麻痺のような後遺症を残します。一刻も早く医療機関を受診してください。

くも膜下出血のピークは50歳代ですが、若い方にも生じることがあり、特徴的な症状は吐き気を伴う頭痛です。特に急に起こってなかなか治らない、今まで経験したことのないような頭の後ろから首筋の痛みは要注意です。出血が多いと意識障害となり、命の問題になります。頭痛を来す疾患は色々ありますが、発作性に痛くなり、吐き気を伴う片頭痛はくも膜下出血の頭痛と紛らわしいことがあります。いわゆる頭痛持ちの方は一度医療機関でMRI(エムアルアイ)を行った方がよいでしょう。

脳卒中の症状

脳梗塞や脳出血の症状は、片側手足の動きが悪くなる運動麻痺、片側手足の感覚障害であるしびれ感、片側の口がうま

くも膜下出血のピークは50歳代ですが、若い方にも生じることがあり、特徴的な症状は吐き気を伴う頭痛です。特に急に起こってなかなか治らない、今まで経験したことのないような頭の後ろから首筋の痛みは要注意です。出血が多いと意識障害となり、命の問題になります。頭痛を来す疾患は色々ありますが、発作性に痛くなり、吐き気を伴う片頭痛はくも膜下出血の頭痛と紛らわしいことがあります。いわゆる頭痛持ちの方は一度医療機関でMRI(エムアルアイ)を行った方がよいでしょう。

脳卒中の診断

医療機関で脳卒中かどうかを見極めるには、まず経過を患者さんやご家族から聞いてから、患者さんの状態を診察します。大体の予想をしながら、頭部CTやMRIなどの画像診断を行います。画像診断がすぐに必要かは患者さんの状態やその医療機関の体制によっても変わります。MRIは発症間もない脳梗塞を見つけてくれることができ

朝倉健先生の略歴をご紹介します

- 昭和51年(1976) 群馬県立前橋高校卒業、群馬大学医学部入学
- 昭和57年(1982) 群馬大学医学部卒業、群馬大学医学部附属病院脳神経外科勤務
- 昭和58年(1983) 伊勢崎市民病院脳神経外科
- 昭和59年(1984) 埼玉県立がんセンター脳神経外科
- 昭和60年(1985) 北信総合病院脳神経外科
- 昭和61年(1986) 秋田県立脳血管研究センター脳神経外科
- 昭和63年(1988) 群馬大学脳神経外科
- 平成元年(1989) 前橋赤十字病院脳神経外科
- 平成4年(1992) 公立藤岡総合病院脳神経外科
- 平成15年(2003) 前橋赤十字病院脳神経外科部長
- 平成21年(2009) 前橋赤十字病院地域医療支援・連携センター長
- 平成23年(2011) 前橋赤十字病院院長補佐

主な資格

- 日本脳神経外科学会専門医
- 日本脳神経血管内治療学会専門医
- 日本脳卒中学会専門医

参加学会

- 日本脳神経外科学会、日本脳神経外科コンGRESS、日本脳卒中学会、日本脳卒中の外科学会、日本神経血管内治療学会、日本頸部脳血管治療学会、日本小児神経外科学会、日本医療マネジメント学会、日本クリニカルパス学会、他

役職

- 日本脳卒中協会群馬県支部副支部長
- 群馬脳卒中医療連携の会代表
- 群馬脳卒中救急医療ネットワーク代表世話人 他

生じます。朝起きたら片

よいでしょう。

をみつけることができます

脳卒中では様々な神経症状が突然起こります

■脳卒中の主な症状

脳梗塞、脳出血 突発する脳神経症状が特徴

- 半身(顔、上肢、下肢)の脱力感
- 半身のしびれ感
- 言語障害(構音障害、失語)
- 視野障害、複視
- 顔面のゆがみ



くも膜下出血 突発する激しい頭痛が特徴

- これまでに経験したことのないような、突然の激しい頭痛
- しばしば意識障害、嘔気・嘔吐を伴う



大きな脳卒中や脳幹の脳卒中では意識障害を伴う

脳卒中には血管が詰まるタイプと破れるタイプがあります

■脳卒中の分類

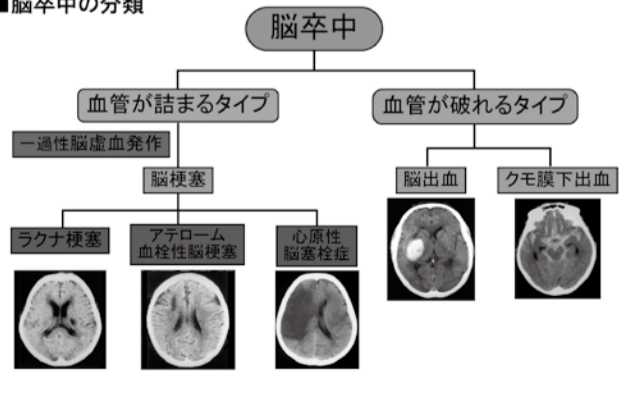


図1

ですが、休日や夜中にMRIを行える病院は前橋赤十字病院など限られています。脳卒中は急に生じるのが特徴で、患者さんが十分に答えられないこともありますが、ご家族の方が普段からかかりつけ医がどこで、飲んでおいてください。

それでは次回はお薬や注射薬など、脳卒中の内科的治療についてお話しします。

図2